

「第6期生 小学校教諭 合格者座談会」を開催しました



11/20(金)、本年度教員採用試験を見事に合格した本学第6期生をゲストスピーカーに迎え「小学校教諭 合格者座談会」を開催しました。

今年度は新型コロナウイルス感染症防止対策として3・2回生を優先に座席を設けて例年より少人数制で実施いたしました。オンライン授業の兼ね合いで当日は登校日ではない学生も多い中、出席した学生は大変意欲が高く、真剣な眼差しで先輩方の話に耳を傾けていました。

『第一部 全体会』では、受験自治体の決め方から試験日程・内容に合わせた計画的な学習計画の立て方など具体的な教員採用試験対策はもちろんのこと、学生時代だからこそできる経験を主体的に積むことの大切さや一緒に採用試験に臨んだ同級生の存在の大きさなども各学年の後輩学生に届く形でメッセージを伝えてくれました。採用試験を見事に突破されたゲストスピーカーの誠実な人柄を目の当たりにして、出席した学生も誠実な感想をたくさん寄せていました。

『第二部 分散会』では、ブースに分かれてより詳しい受験対策方法について語ってくれました。コロナ対策のため“賑やかな会”とはなりませんでした。静かな熱気が会場を包んでおり、大切なことを一つも聞き逃らさないようにと耳を傾ける後輩学生の姿がとても印象的でした。例年よりも先輩とキャンパス内で出会う機会が少なくなっていることもあり、分散会終了後も先輩と連絡先を交換したりと自ら積極的に繋がりをもとうと行動している学生がたくさんいました。

<後輩の声>-----

- ・正直、まだ先の話だと思っていましたが、合格者の方を目の前にすると、グッと目の前の話だと強く感じました。先日、何となく問題集を買ってみましたが、今のうちから取り組んでいこうと思いました。合格された方がとても輝いて見えたので、自分も努力して自分自身を磨き、輝きたいと感じました。【1回生】
- ・同じ志をもった仲間を大切に1回生の今から着実に力をつけていきたいと感じました。【1回生】
- ・“短所も魅力”という言葉に勇気をもらいました。現場でボランティア等をする度に人より出来ない部分や嫌いな所に目がいき劣等感を抱いていました。しかし、その部分を偽り隠すのではなく、ありのままの自分と嘘偽りのない思いを前面に出して、ぶつかっていくことが大切だと感じました。【2回生】
- ・参加してこれからはしなければならないことや越えていかなければならない壁がたくさんあり、自分自身との戦いが始まるのだと感じました。人とのかわりを大切にすること、周りに流されずやるべきことはしっかりやることを続け、1年後には少し変わった自分になりたいと思います。【2回生】
- ・採用試験勉強は、将来の自分のため、そして先生になった時に会う子どもたちのためにつながるという意識へと変わりました。弱い自分から逃げず、恥ずかしくない自分となって進んでいきたいと思います。【3回生】
- ・来年は私が前に座れるように自分の課題を見つめなおし、一つひとつ改善していきます！【3回生】
- ・やはり仲間は大切であり、ライバルであり良き友だと思いいつづけていきたいです。【3回生】
- ・リアルな話を聞いて教員採用試験に向けての見通しややる気が出てきました。7期生は受験人数が少ないが、皆で協力して合格を目指していきたいです。【3回生】

これまでに本学を卒業された約60名近くの先輩が教員採用試験を突破し、兵庫県・神戸市の地元だけでなく全国各地の自治体21の小学校現場で活躍されています。

先輩からの熱いメッセージのバトンはしっかりと後輩たちへと受け継がれていると感じます。

昨年度の合格者座談会において、

『今年で3回目の出席で、1年生の頃は後ろの座席で参加していた私も最前列で聞く番となりました。

毎年、思いやポイントを先輩から後輩へと伝えていっているの、来年は私が伝えられる立場になれることを目標として頑張ります!! 絶対神戸で先生をします!』

とコメントをしていた学生が見事に合格し夢を実現させました。

1期生より続くこの合格者座談会ですが、このコロナ禍での実施となった今年度の座談会に積極的に出席した聞く側の学生たちが、4年次には後輩の目標となるような話し手となって登場できるように今日からまた夢に向かって勉強や課外活動等に取り組んでいって欲しいと思っています。

教 職 支 援 セ ン タ ー
キ ャ リ ア 支 援 課
こども教育学科就職委員会